

米国環境保護庁
ワシントン D.C 20460

大気放射局

2013年10月24日

ENERGY STARコンピュータサーバー製造事業者その他関係者各位

米国環境保護局 (EPA) は、標準性能評価法人 (SPEC: Standard Performance Evaluation Corporation) サーバー効率評価ツール (SERT: Server Efficiency Rating Tool) の最新化に注目していた。コンピュータサーバはSERTバージョン1.0.2を用いて試験すべき段階となった。

この最新化により今や32ビットサーバも含めるべき点に留意すべきである。しかし、今回はツールに対する改訂は小幅であり、出力結果には影響を与えない。SERTの最新化改訂前のバージョンを用いて出た結果は、ENERGY STARコンピュータサーバ認証に対し今後も正当である。再試験は必要ではない。今回の変更に関する質問は、Meyers.Robert@epa.gov.に直接問い合わせのこと。

バージョン2.0コンピュータサーバの仕様及び試験方法に対する明確化

コンピュータサーバー バージョン2.0適合基準、試験方法のSERT関連項目を更新する。全てのSERT 1.0.1に関連する。適合基準及び試験方法は、この更新によって「2013年9月改定」になる

今回の明確化は、バージョン2.0コンピュータサーバ適合基準及び試験方法におけるSERTに対する参照を最新化するものである。SERTは全て、現在当該ツールの最新バージョンを参照する。適合基準及び試験方法の両方の見出しは、今回の明確化を反映して「2013年10月」となる。

- 適合基準バージョン2.0 2013年**10月**改定 セクション6.1.1
 - 表5: ENERGY STAR適合に関する試験方法
標準性能評価法人 (SPEC: Standard Performance Evaluation Corporation) **最新**サーバー効率評価ツール (SERT: Server Efficiency Rating Tool) (参照1)
- 試験方法 2013年**10月**改定 セクション4
 - セクション4.D.1--準拠: 電力測定器は、**最新**サーバー効率評価ツール (SERT) TM (参照2) の設計文書に指定されている電力測定装置の一覧から選択されていること。
 - セクション4.E.1--準拠: 温度センサーは、**最新**SERT設計文書 (参照3) に指定されている温度測定装置の一覧から選択されていること。
 - セクション4.F--状態試験ツール: 標準性能評価法人 (SPEC) (参照4) により提供されるSERT **最新バージョン**。
 - セクション4.H--一般SERT要件: 本試験方法において別に規定されている場合を除き、SPECまたは**最新**SERT関係書類に規定されているあらゆる追加要件に従うこと。SPECによる関係書類には以下のものが含まれる。
- 試験方法 2013年**10月**改定 セクション5.2.M
 - **最新**SERT使用説明書に規定されているとおりにUUTと制御システムに**最新**SERTを設定する。
- 試験方法 2013年**10月**改定 セクション6.2
 - セクション6.2.B--最初の起動またはログインの完了から5~15分後、**最新**SERT使用説明書 (User Guide) に従ってSERTを開始させる。
 - セクション6.2.C--SERTが問題無く実行されるように、**最新**SERT使用説明書に示されているすべての手順に従う。

参照1 本文書の参考に、最新SERTバージョンに関する最近発行されたサーバ2.0明確化メモを一覧表示している。下記エンタープライズサーバ仕様バージョン2.0ウェブサイト参照のこと。

https://www.energystar.gov/products/specs/enterprise_servers_specification_version_2_0_pd/

参照2 <http://www.spec.org/sert/>

参照3 http://www.spec.org/sert/docs/SERT-Design_Document.pdf

参照4 <http://www.spec.org/>

ENERGY STARへの継続的な支援に感謝する。

Sincerely,

Robert Meyers

Product Manager, ENERGY STAR Computer Servers

以上